

神田外語大学言語科学研究科 公開講座

参加
無料

9月7日 (土)

15:00-16:30

オンライン開催



神田外語大学図書館全景

テーマ

言語政策の角度から言語の多様性を考える

講師：Sau Kuen FAN (サウクエン・ファン)
神田外語大学 国際コミュニケーション学科教授

お申し込み方法

お申し込みフォーム

<https://forms.gle/vdQnffmht7746z1z7>

右のQRコードまたはURLよりお申し込みください。申込期間終了後にご登録のメールアドレス宛に接続先等の詳細をご案内します。



お申込期限：9/3 (火)

同日13:30~14:30に本学大学院説明会を開催いたします。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

神田外語大学大学院 入試説明会

<https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/opencampus/extension/>



お問い合わせ

infograd-kuis@ml.kandagaigo.ac.jp

043-273-1320

講師プロフィール

Sau Kuen FAN(サウクエン・ファン)

神田外語大学 国際コミュニケーション学科教授

香港中文大学文学士、オーストラリア・モナシュ大学日本研究科博士 (Ph.D.)。モナシュ大学講師を経て、神田外語大学国際コミュニケーション学科教授。専門は社会言語学。研究の関心は多文化社会、異文化接触、外国語学習などの場面における言語管理や言語政策の問題。

主な著書：『接触場面の言語学—母語話者・非母語話者から多言語話者へ』（ココ出版、2016共編著）『日本語でインターアクション』（凡人社、2014監修）

主な論文：「多文化社会への移動によるリテラシー問題：オーストラリア香港系移民の事例を通して」（ひつじ書房、2021）

“Research perspectives from East Asia: Language management in contact situations” (John Benjamins, 2020)

“Accustomed language management in contact situations between Cantonese speaking Hong Kong employers and their Filipino domestic helpers” (Slovo a slovesnost, 2015)



講演要旨

地球上に実際に使われているいわゆる「生きている言語」は数千もあると言われています。大言語・小言語のように認識されることが多いのですが、言語の大・小にかかわらず、人類の長い歴史や社会の変化によって同じ言語でもさまざまな変種（バリエーション）が見られることは周知の通りです。興味深いのは言語が異なっても互いにかなり意思疎通のできる「異言語」もあれば（例、北欧のスウェーデン語とデンマーク語）、方言同士の間でまったく通じない「同言語」もあります（例、中国語の福建方言や広東方言）。本講座では、言語政策の角度から言語の多様性がどのようにもたらされているかを事例を挙げて紹介し、均一化が進むグローバル社会において言語の多様性が示唆する問題と意義を考えます。

